

Library News

293号

2018年9月発行

徳島県立城東高等学校 図書館

夏休みはどうでしたか？

猛暑が続きましたね。体調はいいかな。

新学期に向けて出発できそうですか？え、眠い？

図書室にはただ眺めていればいい本もありますよ。

頭を動かしたい人は、もちろんたくさんあるので選んでね。

では、レッツゴー！



読書について

今月は先生の推薦図書はお休みです。かわりに、図書室から基礎の基礎、読書についての本をご紹介します！とは言え、ここでもやはり識者のご意見をたまわります。

NHK「ラジオ英会話」のテキストに毎月池上彰さんがコラムを書かれています。そのタイトルは「こんな本どうですか」

そして、8月号で紹介されているのがショウペンハウエルのまさにそのものずばり、『読書について』。引用しますね！

「(前略)当時は「高名な哲学者」くらいの認識しかありませんでした。

読んでみて仰天。とんでもないことが書いてありました。

「読書は、他人にもものを考えてもらうことである。本を読む我々は、他人の考えた過程を反復的にたどるにすぎない。習字の練習をする生徒が、先生の鉛筆書きの線をペンでたどるようなものである。だから読書の際には、もの考える苦労はほとんどない。自分で思索する仕事をやめて読書に移る時、ほっとした気持になるのも、そのためである。だが読書にいそむかぎり、実は我々の頭は他人の思想の運動場にすぎない。そのため、時にはぼんやりと時間をつぶすことがあっても、ほとんどまる一日を多読に費やす勤勉な人間は、しだいに自分でもの考える力を失って行く」

なんと！本を読むことの効用が書いてあると思っていたら、**その逆でした**。読書の**危険**について書かれていたのです。

(中略)これは**衝撃**でしたね。むやみに本を読んでも仕方がないというのです。」

(さてここで、また池上さんがショウペンハウエルの言葉を引用します)『食物は食べることによってではなく、消化によって我々を養うのである。それとは逆に、絶えず読むだけで、読んだことを後でされめに考えてみなければ、精神の中に根をおろすこともなく、多くは失われてしまう。(後略)』ここまで読んで、ちょっと安心しました。読書がいけないと言っているわけではないのですね。ただ大量の本を読んでいけばいいというものではない。本を読んだあと、その本の内容について**じっくり考え抜くことで、自分の栄養になる**というわけです。」

さあ、本を自分の栄養とするために、どれか1冊これと決めて、深く内容を考えてみませんか？

さて、そう言いながら、読書には“ワザ”が必要になる時もあるのです。

そんな時は『理科系の読書術』はどうでしょう？

理科系の読書術

鎌田 浩毅 // 著
中公新書

「最後まで読まなくていい」「難しいのは著者が悪い」「アウトプットを優先し不要な本は読まない」など、読書が苦手な人でも仕事や勉強を効率よく進めるヒントが満載。文系の人にもおすすめの、理科系の合理的な読書術を伝授する。」とありますよ～。

ちなみに著者は京大の教授です。(大学院人間・環境学研究科)

さてでは最後に読書についての格言を一つ。

あらゆる良書を読むのは、過去の最も優れた人たちとことばを交わすようなものだ。

17世紀のフランスの哲学者、**デカルト**の言葉です。

まあだまされたと思って(笑)、一度じっくりゆっくり一冊の本と向き合ってみてください。時間さえひねくり出せたら、あとはこっちのものだぞ。

「読書について」

ショウペンハウエル

岩波文庫 著

新しく購入した図書

内容が分かるように題名のあとに副題を入れました。著者名のあとにも少し紹介あり。

S新書 B文庫

S	007	デジタル・ポピュリズム:操作される世論と民主主義		福田直子	デジタル戦略によって人びとを分断・誘導する様々な手法を紹介
	021	写真好きのための法律&マナー		吉川 明子	SNS時代の著作権、写真の無断使用「被害と交渉」の現実
S	104	はじめての哲学的思考		苫野 一徳	なぜ人を殺してはならないの? 生きる意味とは何だろう?
S	159	逃げ出す勇氣		ゆうき ゆう	〔著〕
S	170	神道入門		新谷 尚紀	著
S	210	江戸のいちばん長い日:彰義隊始末記		安藤 優一郎	著
S	210	10代に語る平成史		後藤 謙次	著
	288	図解でわかる14歳からの天皇と皇室入門		山折 哲雄	監修
S	289	アンネ・フランクに会いに行く		谷口 長世	著
	302	ウズベキスタンを知るための60章		帯谷 知可	編著
	304	知らないと恥をかく世界の大問題	9	池上 彰	〔著〕
	304	日本&世界の未来年表		世界博学倶楽部	著
S	319	平和をつくるを仕事にする		鬼丸 昌也	著
S	319	核兵器はなくせる		川崎 哲	著
S	322	戦国大名と分国法		清水 克行	著
	323	自衛隊と憲法		木村 草太	著
	327	ポピュリズムと司法の役割:裁判員制度にみる司法の変質		斎藤 文男	著
	334	人口減少社会の未来学		内田 樹	編
S	335	戦争体験と経営者		立石 泰則	著
S	364	総介護社会		小竹 雅子	著
	366	教育学部:中高生のための学部選びガイド		三井 綾子	著
S	369	ヤングケアラー:介護を担う子ども・若者の現実		渋谷 智子	著
S	371	暴走する能力主義		中村 高康	著
S	469	遺伝人類学入門		太田 博樹	著
	480	ざんねんないきもの事典	続々	今泉 忠明	監修 大シリーズ第3弾!
	488	自然散策が楽しくなる!見わけ・聞きわけ野鳥図鑑		叶内 拓哉	QRコードでアクセスしたら鳴き声が聞こえるよ!
	490	基本としくみがよくわかる東洋医学の教科書		平馬 直樹	総監修 漢方薬監修
S	491	ガンより怖い薬剤耐性菌		三瀬 勝利	著
S	493	「発達障害」と言いたがる人たち		香山 リカ	著
	493	発達障害を生きる		NHKスペシャル取材班	著
S	498	医療経済の嘘		森田 洋之	著
S	498	パッと探せる!糖質量ハンドブック		山岸 昌一	オールカラー。食べているものの糖質量をばっと知りたい時に
	498	世界の最新医学が証明した長生きする食事		満尾 正	著
S	518	リサイクルと世界経済		小島 道一	著
	596	女子栄養大学の誰も教えてくれない発酵食のすべて		五明 紀春	監修
	709	国宝の解剖図鑑		佐藤 晃子	著
S	767	K-POP:新感覚のメディア		金 成ミン	著
S	780	スポーツ国家アメリカ:民主主義と巨大ビジネスのはざままで		鈴木 透	著
	829	超入門読む!書く!話す!ハンゲルノート		原田 克子	著 CD付き
S	910	原民喜		梯 久美子	著
B	913.6	サバイバル・ウェディング		大橋 弘祐	著
B	913.6	未来のミライ		細田 守	〔著〕 映画のノベライズ
B	913.6	白ゆき姫殺人事件		湊 かなえ	著
B	913.6	キアズマ		近藤 史恵	著 『サクリファイズ』シリーズの第4弾。
	913.6	未来		湊 かなえ	著
B	913.6	ブラック・ベルベット		恩田 陸	著
B	913.6	検察側の罪人	上・下	雫井 脩介	著 映画化
	913.6	魔力の胎動		東野 圭吾	著
B	913.6	猫を拾いに		川上 弘美	著
B	913.6	dele	1・2	本多 孝好	〔著〕 映画化
B	913.6	響け!ユーフォニアム		武田 綾乃	著
	913.6	コーヒーが冷めないうちに		川口 俊和	著 映画化
B	913.6	虹色デイズ		水野 美波	原作 映画のノベライズ
B	913.6	神様の定食屋	1・2	中村 颯希	著
B	913.6	後宮に星は宿る・後宮に月は満ちる・後宮に日輪は蝕す		篠原 悠希	〔著〕
	913.6	下町ロケット:ゴースト		池井戸 潤	著
	913.6	浜村渚の計算ノート	8と1/2さつ	青柳 碧人	〔著〕
B	914.6	新しいおとな		石井 桃子	著子ども、読書、絵本、本づくりをめぐる随筆集。

石井桃子さん(1907-2008)は『ノンちゃん雲に乗る』の作者さんかつ翻訳者です。↑は保育・教育を目指す人、読んでみては?

この夏文化の森の県立近代美術館で「佐野洋子の世界展」がやっていました。図書室にも『100万回生きたねこ』を始め、佐野洋子さんの本があるので手にとってみてね。